

2 次案内

第 23 回

令和 6 年度

世田谷算数夏季セミナー

日 時 令和 6 年 8 月 19 日(月) 受付 8:30 ~ 9:00

時 程

受付	開会 提案授業 Ⅰ・Ⅱについて 本校算数部	研究授業Ⅰ 「かけ算」 本校 第 2 学年 授業者 稲垣 悦子	研究授業Ⅱ 「倍の見方」 本校 第 4 学年 授業者 難波 怜央	研究 協議会 Ⅰ・Ⅱ	昼 休憩	提案授業 Ⅲについて 本校算数部	研究授業(Ⅲ) 「図形の角」 本校 第 5 学年 授業者 瀧藤 潤	研究 協議会 Ⅲ	指導・講評 弘前大学 中野 博之 先生	謝 辞 越 後 佳 宏
8:30 9:00	9:20	10:20	11:10 12:00	13:15	13:30	14:25	15:00	16:00		

場 所 東京学芸大学附属世田谷小学校 集会室

〒158-0081 東京都世田谷区深沢 4-10-1 03 (5706) 2131



資料代 1,000 円 ※ 当日、現金でお願いいたします。

本校 HP から事前申し込みをお願いいたします。

主 催

東京学芸大学附属世田谷小学校 算数研究部

内 容

世田谷区算数研究会 研究テーマ

数学的な見方・考え方を働かせて問題解決に取り組む児童の育成

本校 算数部 テーマ

算数を創造する子ども ～「自分で学びをデザインできる子どもの育成」へ向けて～

創造的な学習指導を通して 算数を創造する子どもを育成することが、算数科が「デザインの実践に向けて、文化・科学の叡智から世界の見方・考え方を広げ」それらを「デザイン実践の場で自由自在に使いこなす」子どもの実現に向けて担う役割である。

(1) 魅力ある教材を開発, 提示する

(2) 創造的な学習の過程を子どもが振り返るきっかけを設定する

研究授業Ⅰ 第2学年「かけ算」

9 : 20 ~ 10 : 05

授業者 稲垣 悦子

第2学年の児童に初めて「かけざん」と出合わせる授業である。見方・考え方を働かせ、算数を創造することができるようにするには、どのように出合わせる事が望ましいのだろうか。既習をもとに学習することはできないだろうか。

研究授業Ⅱ 第4学年「倍の見方」

10 : 20 ~ 11 : 05

授業者 難波 怜央

第4学年の「倍の見方」は、第2,3学年で学習する倍と何が違うのだろうか。「倍の見方」を学習することは、児童にとってどのような必要性があるのだろうか。「倍の見方」を児童が見いだすためには、どのような方法が有効なのであろうか。

研究授業Ⅲ 第5学年「図形の角」

13 : 30 ~ 14 : 15

授業者 瀧藤 潤

「三角形の三つの角の大きさの和は 180° である。」これを教室の児童の半数以上が既に知っている中で授業をすることもある。しかし、ここで児童にもたせたい関心は「 180° であること」ではなく「どんな三角形のときも一定であること」ではないだろうか。

指導・講評 弘前大学 中野 博之 先生

15 : 00 ~ 15 : 50